

移動販売車事業を強化

新規に10台導入

FC展開 推 進 関東、関西進出狙う

おとうふ工房いしかわ

豆腐製造販売のおとうふ工房いしかわ（本社高浜市豊田町、石川伸社長、電話05666・54・0330）は、移動販売車事業を強化する。2014年4月期は10台を新規導入する予定。FC展開も推進し、関東、関西地区への進出をめざす。

（高浜・片桐芳樹）

移動販売車事業は、

7年前に1台からスタートした。「くるくる豆蔵」の名称で、豆腐をはじめ、ドーナツ、プリン、パン、総菜などを販売している。各地で好評を得て、順次、台数を増やし、現在は、愛知県内で直営10台、FC3台が稼働している。



石川伸社長

る。直営は、西三河と知

多地区、名古屋市緑区を中心展開。FCは現在1社で、一宮市の物流事業者が新規事業として参入し、一宮・稲沢地区で移動販売を行っている。

同社では「7年間ノウハウを蓄積してきた。東京のような都心部を除けば、日本全国で成り立つ事業」（石川社長）としており、今後、事業を積極化し

ていくことにした。

FCは、同業者や食品メーカー、食品販売事業者など食品に関連する業種から異業種まで幅広い参入を想定。同社が販売教育などノウハウと商品を提供する。設備投資額は、移動販売車が1台250万円。

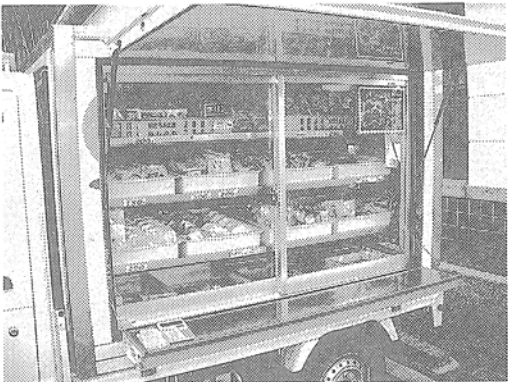
全国展開をめざし、まずは14年4月期中に関東、関西地区で1社ずつFCを確保したい考え。新規導入予定10

台のうち、6台はFCに充てる計画だ。

石川社長は「移動販売を展開してみて、日本の社会の中でのニーズを感じる。初期投資の少なさもポイント。今後、全国で大きなマーケットになっていくはず」と話している。



移動販売車「くるくる豆蔵」



「くるくる豆蔵」の販売スペース